
世界最大の企業データベースを提供する 株式会社 東京商工リサーチ

海外の高リスク取引の際に最も役立つ企業レポート！ 「中南米コンプリヘンシブレポート」の対象国を拡大

日本および世界の企業情報を提供しております日本最大級の企業情報提供会社である株式会社 東京商工リサーチ(本社:東京都千代田区大手町 1-3-1 社長:菊池 昭一 以下 TSR)は、この度、4月22日(火)より、「中南米コンプリヘンシブレポート」の対象国を35か国拡大いたします。

コンプリヘンシブレポートとは、海外企業の詳細レポートのことで、リスクの高いことが多い海外企業との取引において、迅速かつ確実な意思決定を行うためのサポートツールです。

2011年のブラジル、メキシコでのコンプリヘンシブレポートのリリースに加えて、この度新たに35か国を対象国といたしました。

財務や支払振りデータの充実、そしてグラフの付加によって、視覚的にも内容を理解しやすい内容になっています。また、見たい項目を瞬時に表示するページ内リンクや、折りたたみボタン機能なども加わり、従来のテキスト形式のレポートに比べて、パソコンでの操作性が格段に高まりました。

コンプリヘンシブレポートは先進国だけでなく、新興市場地域において提供範囲を徐々に広げてまいりました。高い成長力を維持し、今後さらに消費需要が見込まれる中南米地域の提供国が今回飛躍的に拡大いたします。

高リスク取引の意思決定の際には、是非「中南米コンプリヘンシブレポート」をご活用下さい。

【中南米コンプリヘンシブレポートの特徴】

1. ダンレポートと同様に操作性と視認性が向上
2. 最大5期分の財務情報を掲載
3. 財務分析やトレンドなどをグラフで明瞭に表示

【新たな対象国(35 か国)】

アンギラ、アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バミューダ、ボリビア、イギリス領ヴァージン諸島、ケイマン諸島、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、モントセラト、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、セントキッツ(セントクリストファー)・ネイビス、セントルチア、セントビンセント・グレナディン、スリナム、トリニダード・トバゴ、タークス・カイコス諸島、ベネズエラ

●株式会社東京商工リサーチ(TSR)について

TSR は、1892 年に「商工社」として創業し、日本で最も歴史のある信用調査会社として、日本最大級の企業データベースと全国 80 ヶ所に広がるネットワークによる信用調査サービスを核に、長年日本の経済活動を支え続けております。詳細は下記サイトをご参照下さい。

<http://www.tsr-net.co.jp/>

(本件に関するお問合せ)

株式会社東京商工リサーチ

TEL :03-6910-3111/3142

FAX :03-5221-0712

MAIL :info@tsr-net.co.jp